



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 三越伊勢丹ホールディングス

上場取引所 東 福

コード番号 3099 URL <http://www.imhds.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 洋

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 滝口 一雄

TEL 03-5843-5115

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	290,360	0.1	6,905	38.1	10,680	34.3	6,071	△64.1
24年3月期第1四半期	289,951	0.2	5,001	205.9	7,949	36.6	16,896	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 12,403百万円 (△30.5%) 24年3月期第1四半期 17,852百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	15.39	15.35
24年3月期第1四半期	42.83	42.80

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,206,308	476,872	38.5
24年3月期	1,227,947	468,479	37.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 463,974百万円 24年3月期 456,583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	583,000	△0.1	7,500	△17.1	14,000	△10.9	9,000	△56.3	22.81
通期	1,240,000	0.0	25,000	4.9	38,000	△1.2	29,000	△50.8	73.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	394,757,494 株	24年3月期	394,751,494 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	253,961 株	24年3月期	250,439 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	394,502,066 株	24年3月期1Q	394,473,510 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成24年4月1日～平成24年6月30日)におけるわが国経済は、震災復興に伴う公共投資の本格化に加え、エコカー補助金復活などを背景に個人消費が堅調に推移するなど、緩やかながら景気回復の動きが見られました。しかしながら、株価低迷や消費税増税・電気料金値上げに対する懸念、さらに海外では欧州債務問題や米国・中国の景気減速など、国内外で先行き不透明な状況が続きました。

百貨店業界におきましては、昨年の東日本大震災による影響の反動から、4月の全国百貨店売上高は前年実績を上回りましたが、当第1四半期連結累計期間では前年割れとなるなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」の実現に向けた取組みを推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は290,360百万円(前年同四半期比0.1%増)、営業利益は6,905百万円(前年同四半期比38.1%増)、経常利益は10,680百万円(前年同四半期比34.3%増)、四半期純利益は6,071百万円(前年同四半期比64.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 百貨店業

中核の百貨店業におきましては、当グループにおける最重要戦略である伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店・三越銀座店の基幹3店舗の磨き上げについて、平成22年9月に増床オープンした三越銀座店に続き、本年は伊勢丹新宿本店の再開発に着手しております。5月より婦人フロアの一部で工事がスタートし、前年に比べ営業面積が減少しておりますが、当第1四半期における伊勢丹新宿本店の売上は前年実績を上回りました。また、三越日本橋本店・三越銀座店につきましても売上は堅調に推移いたしました。なお、伊勢丹新宿本店再開発のグランドオープンは平成25年春を予定しております。

首都圏以外の国内グループ百貨店におきましては、当第1四半期連結累計期間でほぼ前年並みの実績となりました。特に、震災からの復興後、売上が伸長している仙台をはじめ、新潟、広島、高松などの地域では売上が前年実績を上回りました。

顧客接点の拡大と充実に向けた新規小型店舗事業の展開におきましては、4月20日に、羽田空港国内線第1旅客ターミナル内に紳士雑貨とフーズギフトを中心とした「イセタン 羽田 ストア」をオープンいたしました。

なお、専門館事業で運営しておりました新宿三越アルコット店は、同ビルを外部に一括賃貸することに伴い、3月31日をもちまして営業を終了しております。

海外におきましては、グループ収益基盤の強化に向け、経済成長率の伸びにやや鈍化の傾向が見られるものの、引き続き堅調な成長が見込まれる中国・東南アジア地域での市場の開拓と深耕に取り組まれました。なお、5月11日に、マレーシアのスランゴール州に同国で4店舗目となるワンウータマ店を新規オープンしており、本年秋には中国の天津市に2号店をオープンする予定となっております。また、平成26年末には同じく中国の成都市に2号店をオープンする予定となっております。

これらの結果、百貨店業全体での売上高は262,641百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益は

4,853百万円（前年同四半期比86.9%増）となりました。

## ② クレジット・金融・友の会業

クレジット・金融・友の会業におきましては、株式会社エムアイカードおよび株式会社エムアイ友の会が、会員数の拡大とともに収益力の高い経営基盤の構築に取り組みました。また、一部店舗でタブレットPCを活用したエムアイカードの入会受付サービスをスタートさせ、手続き時間の短縮や友の会との同時申し込みなど、お客さまの利便性向上と業務の効率化を図りました。

この結果、売上高は8,045百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業利益は1,790百万円（前年同四半期比40.6%増）となりました。

## ③ 小売・専門店業

小売・専門店業におきましては、食品製造・スーパーマーケット業の株式会社三越伊勢丹フードサービスが、安心安全な商品や自社製造機能を活用した独自性の高い商品の提供により地域のお客さまの満足度向上に向けて取り組みました。また、同社として初の新規出店となる「クイーンズ伊勢丹ふじみ野店」を、6月29日に埼玉県ふじみ野市の「ショッピングセンター ソヨカ ふじみ野」内にオープンいたしました。開店に伴う一時的な費用の発生により減益となっております。

通信販売業の株式会社三越伊勢丹通信販売は、従来のWEB・カタログ・TV通販に加え、昨年秋よりスタートした会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」を展開するなど、利便性の高いサービスの提供に取り組みました。

この結果、売上高は20,668百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業損失は400百万円（前年同四半期は営業利益4百万円）となりました。

## ④ 不動産業

不動産業におきましては、株式会社三越伊勢丹ビルマネジメントが、営業支援および省エネ・防災関連業務に取り組みました。

この結果、売上高は6,939百万円（前年同四半期比44.0%増）、営業利益は209百万円（前年同四半期比42.8%増）となりました。

## ⑤ その他

その他におきましては、情報処理サービス業の株式会社三越伊勢丹システム・ソリューションズ、物流業の株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート、人材サービス業の株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ等が、営業支援および生産性向上に向けた業務に取り組みました。

この結果、売上高は16,183百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は379百万円（前年同四半期比56.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,206,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,638百万円減少しました。

負債合計では729,436百万円となり、前連結会計年度末から30,031百万円減少しました。

また、純資産は476,872百万円と、利益剰余金が増加したことなどにより前連結会計年度末から8,393百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益は概ね計画通りに推移しておりますが、第1四半期連結累計期間で固定資産売却損等の特別損失を計上したことにとともに、第2四半期連結累計期間の四半期純利益を9,000百万円に、通期の当期純利益を29,000百万円にそれぞれ変更しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,137	35,603
受取手形及び売掛金	105,895	103,540
有価証券	268	228
商品及び製品	54,856	56,173
仕掛品	118	132
原材料及び貯蔵品	1,079	1,127
その他	62,323	46,139
貸倒引当金	△3,470	△3,436
流動資産合計	260,208	239,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	175,969	174,271
土地	536,702	535,537
その他(純額)	21,011	21,724
有形固定資産合計	733,684	731,534
無形固定資産		
ソフトウェア	13,332	12,998
その他	35,488	35,480
無形固定資産合計	48,821	48,478
投資その他の資産		
投資有価証券	84,894	88,153
その他	100,965	99,291
貸倒引当金	△693	△717
投資その他の資産合計	185,167	186,727
固定資産合計	967,673	966,740
繰延資産		
社債発行費	65	58
繰延資産合計	65	58
資産合計	1,227,947	1,206,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,791	101,570
短期借入金	22,964	27,068
コマーシャル・ペーパー	24,000	50,000
未払法人税等	3,893	2,383
商品券回収損引当金	22,886	22,527
引当金	13,674	7,850
その他	203,880	163,859
流動負債合計	403,089	375,260
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	102,300	102,300
繰延税金負債	158,769	159,203
退職給付引当金	39,602	39,864
引当金	33	28
負ののれん	13,234	9,925
その他	18,438	18,852
固定負債合計	356,378	354,175
負債合計	759,467	729,436
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,102	50,105
資本剰余金	325,061	325,064
利益剰余金	103,823	105,949
自己株式	△233	△236
株主資本合計	478,754	480,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,604	△5,298
繰延ヘッジ損益	1	△5
為替換算調整勘定	△16,567	△11,604
その他の包括利益累計額合計	△22,170	△16,908
新株予約権	1,246	1,202
少数株主持分	10,648	11,696
純資産合計	468,479	476,872
負債純資産合計	1,227,947	1,206,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	289,951	290,360
売上原価	207,771	208,396
売上総利益	82,180	81,964
販売費及び一般管理費	77,179	75,059
営業利益	5,001	6,905
営業外収益		
受取利息	233	230
受取配当金	328	340
負ののれん償却額	3,308	3,308
持分法による投資利益	284	498
その他	442	514
営業外収益合計	4,597	4,892
営業外費用		
支払利息	449	396
その他	1,199	721
営業外費用合計	1,648	1,117
経常利益	7,949	10,680
特別損失		
固定資産売却損	200	935
固定資産処分損	—	291
投資有価証券評価損	31	1,060
合併関連費用	379	—
特別損失合計	611	2,287
税金等調整前四半期純利益	7,338	8,392
法人税等	△9,847	2,149
少数株主損益調整前四半期純利益	17,186	6,242
少数株主利益	289	171
四半期純利益	16,896	6,071

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,186	6,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△389	△266
繰延ヘッジ損益	△3	△6
為替換算調整勘定	1,083	2,220
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	4,212
その他の包括利益合計	665	6,160
四半期包括利益	17,852	12,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,131	11,333
少数株主に係る四半期包括利益	720	1,069

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	262,610	3,728	17,967	2,387	286,694	3,257	289,951	—	289,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	166	3,714	3,276	2,432	9,590	13,072	22,662	△22,662	—
計	262,776	7,443	21,244	4,820	296,284	16,329	312,614	△22,662	289,951
セグメント利益	2,597	1,273	4	146	4,021	862	4,884	116	5,001

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額116百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	262,206	4,012	17,371	3,292	286,883	3,477	290,360	—	290,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	434	4,032	3,296	3,647	11,411	12,705	24,117	△ 24,117	—
計	262,641	8,045	20,668	6,939	298,294	16,183	314,477	△ 24,117	290,360
セグメント利益又は損失(△)	4,853	1,790	△ 400	209	6,453	379	6,832	72	6,905

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額72百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結業績の概要

(単位:百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成24年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成23年4月～6月)	前年差	前年比
連結売上高	290,360	289,951	409	100.1%
連結売上総利益	81,964	82,180	△ 215	99.7%
連結販売費及び一般管理費	75,059	77,179	△ 2,120	97.3%
連結営業利益	6,905	5,001	1,904	138.1%
連結経常利益	10,680	7,949	2,730	134.3%
連結四半期純利益	6,071	16,896	△ 10,825	35.9%

(2) 三越伊勢丹個別の業績の概要

①業績の概要

(単位:百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成24年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成23年4月～6月)	前年差	前年比
売上高	148,967	147,820	1,147	100.8%
売上総利益	40,277	39,680	597	101.5%
営業利益	5,391	3,395	1,995	158.8%
経常利益	5,228	3,453	1,774	151.4%
四半期純利益	2,561	14,486	△ 11,924	17.7%

②店別売上高

(単位:百万円)

店舗名	当第1四半期累計期間 (平成24年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成23年4月～6月)	前年差	前年比
伊勢丹新宿本店	55,654	53,427	2,226	104.2%
三越日本橋本店	39,553	39,103	450	101.2%
三越銀座店	14,189	12,457	1,732	113.9%
伊勢丹立川店	9,197	8,952	244	102.7%
伊勢丹松戸店	5,113	5,311	△ 197	96.3%
伊勢丹浦和店	10,123	10,417	△ 294	97.2%
伊勢丹相模原店	6,058	6,265	△ 207	96.7%
伊勢丹府中店	4,842	4,896	△ 53	98.9%
三越千葉店	4,235	4,319	△ 84	98.0%
新宿三越アルコット店	—	2,669	△ 2,669	—
計	148,967	147,820	1,147	100.8%

(3) 国内グループ百貨店の売上高の状況

(単位:百万円)

会社名	当第1四半期累計期間 (平成24年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成23年4月～6月)	前年差	前年比
札幌丸井三越	14,901	15,397	△ 495	96.8%
函館丸井今井	2,181	2,254	△ 73	96.8%
仙台三越	7,835	6,774	1,061	115.7%
名古屋三越	15,547	16,100	△ 553	96.6%
静岡伊勢丹	4,682	4,890	△ 207	95.8%
新潟三越伊勢丹	11,099	10,987	111	101.0%
広島三越	3,740	3,431	308	109.0%
高松三越	4,828	4,817	10	100.2%
松山三越	3,592	3,605	△ 12	99.7%
岩田屋三越	25,566	25,582	△ 16	99.9%